

空気は「読む」もの
ではありません。
「見る」ものです。

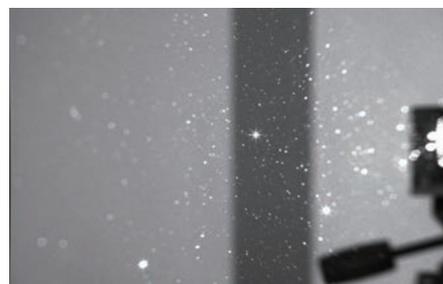
Casica

カシカで見てみよう。



気流可視化システム

空気の様子を可視化することで、さまざまな問題を解決する手掛かりになります。



1 クリーンルームを汚しません

クリーンルーム内の気流可視化には、純水をミストにしたトレーサーガス(クリーンフォガー)を使います。気流の逆流が無い、室内に空気滞留箇所が無い、などクリーンルームの性能向上のために可視化は重要です。



MSPテクノロジー
clean room
fogger model 2001

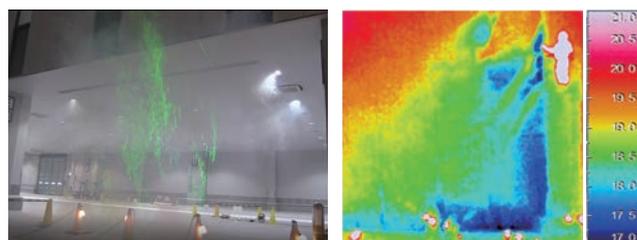


2 GMPバリデーション

無菌クリーンブースの扉開閉時の気流方向の確認や、室圧の異なる部屋間の気流方向確認など、定期バリデーションの資料とすることができます。

3 レーザー光源と組み合わせ

大空間や室全体の気流確認にはレーザー光を照射し、空間断面の気流画像を切り取ります。レーザー光は微粒子の可視化にも使用します。高感度カメラでサブミクロン微粒子挙動の記録もできます。



4 画像分析、温度可視化

撮影した動画から気流速度の解析が可能です。また、サーモグラフィカメラの熱画像による可視化も行います。

※本システムは装置の販売は行っていません。測定サービスのご提案です。